

# H29 人権相談・啓発等事業アンケート結果【概要】 別紙 4

## 【アンケート実施概要】

- 目的 人権相談・啓発等事業（以下「事業」という。）が、市町村に役立つものとなっているか、その評価及び意見を得て、さらなる事業の充実を図るための参考とする。
- 対象機関 府内43市町村（寝屋川市については人権相談事業のみ）
- 対象期間 平成27年4月～29年3月
- 調査事項
  - ・事業の評価（5段階評価）及びその理由
  - ・事業に対する要望等（自由記述）

## 1. 事業全体の評価と事業別評価の状況

### (1) 事業全体の評価（啓発事業を含む）

5段階評価の平均値 4.2（5段階評価記載43市町村）

※平均値：5段階評価の和を、それを記載した市町村数で除した値

### (2) 事業別評価の状況

	人権相談事業							人材 養成 事業	人権啓発支援事業			
	専門相談事業			ネットワーク事業					アドバイザー 設置派遣 事業	人権関 連情報 収集提 供事業	講師リス ト作成 講師紹 介事業	コミュニ ティ 活動事 例紹介 事業
	府民向 け人権 相談	市町村 人権相 談サポ ート	専門家と の連携相 談支援	人権相談 機関ネッ トワークの運 営	相談事例 研究会	おおさ か相談 フォーラム	人権相 談集約 報告					
平均値 記載した 市町村数	4.1 31	4.1 29	3.9 19	3.9 33	4.1 33	3.9 24	3.9 42	4.6 37	4.2 22	4.1 41	4.4 42	3.8 28

## 2. 評価の理由及び要望（主なもの）

### 人権相談事業／専門相談事業

#### ■府民向け人権相談

##### <理由>

- ・事前予約不要で随時相談に応じるなど、市の相談窓口の補完的な役割を十分果たしている。（評価5）
- ・専門的知識を要する事例への対応が期待できると考えられる。（評価5）
- ・市の業務時間外である休日・夜間等にも対応している。（評価4）
- ・周知方法に改善を求めたい（評価2）

##### <要望>

- ・遠方であるため、ブロックごとの出張相談があればよいと思う。
- ・今後も現状維持（夜間・休日とも各月1回）を希望する。

#### ■市町村人権相談サポート

##### <理由>

- ・「人権相談のてびき」は、相談業務にとっても参考になった。（評価5）
- ・解決困難な事例が発生した場合、人権に関して見識の深い専門機関による支援・助言は必要であると考える。（評価5）
- ・市の相談機関だけでは対応に苦慮するケースの場合、助言や支援があることで、よりの確な対応が可

能となる。(評価4)

<要望>

- ・相談集計の整理が簡単にできる府内全市町村で統一されたソフトがほしい。
- ・「人権相談のてびき」について、事例の掲載をしてもらえるとよりわかりやすいと思う。

■専門家連携相談支援

<理由>

- ・日頃から専門家との連携がとれていないため、この支援体制があることは心強い。(評価5)
- ・年に一度、近隣市と合同で実施している相談会に弁護士を派遣してもらっている。法律の専門家による人権相談ということで、相談者側も安心して相談ができています。(評価5)
- ・弁護士との連携が役に立っている。(評価4)

<要望>

- ・専門家との連携相談支援によって対応した事案について、相談事例研究会で取り上げるなど、活用事案について詳しく知る機会がほしい。
- ・市の相談者が利用したくても遠方のため、何か改善策を求めたい。
- ・専門家の紹介リストがあれば利用したい。
- ・利用しやすいように情報を広く広報してほしい。

人権相談事業／ネットワーク事業

■人権相談ネットワークの運営

<理由>

- ・ネットワークを構築することにより、顔の見える関係づくりが可能になっている。(評価4)
- ・メールマガジンは、他市町村のイベント内容等が配信され参考になった。(評価5)
- ・他市等との意見交換ができるのでとても役立っている。(評価5)
- ・情報交換の場がない。(評価3)
- ・ネットワークの効果が見えにくい。(評価3)
- ・ネットワーク加盟機関リストの情報共有はできているが、運営の実態が見えない。(評価できない)

<要望>

- ・年度ごとの情報更新をお願いしたい。

■相談事例研究会の開催

<理由>

- ・他市事例の詳細や専門家によるアドバイスがあり相談員のスキルアップにつながっている。(評価5)
- ・他ブロックの研究会にも参加可能な形になっており、よりたくさん事例を学ぶ機会があり評価できる。(評価5)
- ・各市町村の人権担当者との情報交換の場となっている。(評価3)

<要望>

- ・ブロック単位だけでなく、年1回は全体でやってほしい。

■「おおさか相談フォーラム」の開催

<理由>

- ・相談員の日常業務の質を高めるためには、研修会は不可欠なため、講演会や情報交流会は有意義であると感じる。(評価5)
- ・ワールドカフェや分科会を通して、加盟機関の方々と交流することで、相互に連携をとることがスムーズに展開できる。(評価5)
- ・毎回、最近の話題となっているテーマをいろいろと取り上げているところが大変参考になり評価できる。(評価4)

- ・相談に関する情報共有の場になりうるとは感じる。(評価3)

#### <要望>

- ・精神疾患の分類とおおよその判定基準や相談時の対応方法等についてのテーマを検討してほしい。

### ■人権相談集約・報告

#### <理由>

- ・人権相談について、人権課題別等で分析したデータを示してもらうことで、啓発すべき課題が抽出でき企画の際に参考になっている。(評価5)
- ・大阪府内でどのような相談が多いか等、状況を把握することにより相談の充実につながる。(評価4)
- ・相談の内訳等、集約されたものを日常の人権相談業務に活かせる工夫があればなおよい。(評価3)
- ・相談件数の集約・公表が、人権相談や人権啓発の充実につながるとは考えられない。(評価1)

#### <要望>

- ・簡単に集計できるソフトがあれば教えてほしい。
- ・報告様式の簡略化をお願いしたい。
- ・集約期間締切日が短いため、もう少しゆとりをもって指示を出してほしい。
- ・個人情報等の問題も多いと思うが、ノウハウのフィードバックを市町村にしてほしい。

## 人材養成事業

### ■人権総合講座

#### <理由>

- ・様々な分野の専門家による講座によって、人権の基礎を学びながら幅広い視野を培うことができた。(評価5)
- ・関心のある講座のみも受講できるので、全庁的に講座を案内している。(評価5)
- ・ヘイトスピーチや障害者差別解消法等、新たな人権課題も取り扱っており、知識を広げるために役立つと感じた。(評価5)
- ・市単独ではできない事業なので、相談員のスキルアップのために継続してほしい。(評価5)
- ・人権啓発担当、相談担当等幅広く職員のスキルアップに役立っている。(評価4)

#### <要望>

- ・時期が集中するので年間を通じての開講としてほしい。
- ・修了に必要な受講科目が多く、通常業務との兼ね合いが難しい。短時間で修了できる講座を増やしてほしい。
- ・テーマが同じ場合でも、内容は違う内容にしてほしい。また、身近で役立つ内容を実施してほしい。(住民基本台帳事務における支援措置について等)
- ・前期・後期では違う内容にしてほしい。

## 人権啓発支援事業

### ■人権啓発アドバイザー設置・派遣事業

#### <理由>

- ・市民意識調査の実施において、調査票の作成から報告書の執筆に至るまで、緻密で丁寧な指導をいただけた。(評価5)
- ・本期間においては、審議会のあり方や基本方針の策定、また男女共同参画におけるアンケート調査へのアドバイザー派遣等に活用させていただき、その都度、的確な、また、幅広い視点でのアドバイスをいただいた。(評価5)
- ・人権研修のテーマや啓発資料作成内容等について、助言していただいた。(評価5)
- ・啓発実践・交流会に参加することで他市の担当者と啓発事業に関する悩みを共有できる。(評価4)
- ・具体的な相談事例が情報共有されるとなお良い。(評価3)

#### <要望>

- ・専門アドバイザーの派遣回数（予算）を増やしてほしい。どのことで依頼するか厳選しないといけないので利用しにくいです。
- ・ブロック別相談会ではなく、府内全体での相談会や交流会を実施してほしい。

### ■人権関連情報収集・提供事業

#### <理由>

- ・詳しく最新の情報が提供されるので、とても役立っている。（評価5）
- ・情報提供の方法も少し改善され、情報を速やかに収集できる。（評価5）
- ・他市町村のイベント情報等を把握でき、企画や立案に役立てることができた。（評価5）
- ・講座やイベント情報など今後の取り組みの参考になる。（評価3）
- ・有益な情報ではあるが、1回のメールマガジンの情報量が多く、有効に活用できていない。（評価3）

#### <要望>

- ・情報提供前にイベントが終了していることがある。できれば余裕を持った日程で紹介いただきたい。
- ・各市町村から送るタイミングの問題もあると思うが、もう少し早く知りたかったと思うことがあった。

### ■講師リストの作成・講師紹介事業

#### <理由>

- ・講師リストから優れた講師を選定し、講座を開催することができた。（評価5）
- ・研修の企画をする際に講師リストを積極的に活用している。また、職員向け研修や企業向け研修において、講師紹介をいただいた。（評価5）
- ・講師リストの活用はもちろんのこと、このようなテーマ・企画・気づきを持てる講師について紹介いただいた。（テーマ：子どもの権利、そのテーマでのファシリテーターなど）また単なる講師紹介だけでなく、さらに講座の企画についてもアドバイスいただいた。（評価5）
- ・講師情報の参考にはなるが、講座や研修会のテーマ等の情報だけでは具体的なものが分からないので、結局は参考までにとどまってしまう。（評価4）
- ・イベント開催時、講師の選定に苦慮しており、講師リストによって選択肢が広がった。（評価4）

#### <要望>

- ・利用しやすいが謝金を明記してほしい。

### ■コミュニティづくり活動事例紹介・活動実践サポート事業

#### <理由>

- ・庁内における「コミュニティづくり」に関わる部署との調整・今後のそれぞれの役割・進め方などについて、アドバイス派遣をしていただきました。また、過去のコミュニティづくりの活動事例を参考に、講座を企画しました。（評価5）
- ・担当課が複数にまたがっているが、報告書を作成いただいたため、関係各課へ情報提供が図りやすくなった。（評価4）
- ・さまざまな活動の情報を得ることができている。コミュニティづくりは人権担当部局のみで積極的に事業展開することが難しいので、庁内でも効果的に情報共有していきたい。（評価4）
- ・特徴ある活動事例を紹介しているので参考になる。（評価3）

#### <要望>

- ・事業の継続をお願いします。

### 3. その他の要望について

- この事業が全般的にわかりにくいという意見があるので、わかりやすくしてほしい。
- 広報誌やホームページで人権啓発を行うため、様々な人権課題や人権そのものについて理解を深めることのできる内容の読み物（人権コラム）を作成し、各市町村で使えるようにしてほしい。